

緑の国際ボランティア研修 (2023 年度)

本研修は、国際緑化活動の重要性や「緑の募金」が果たす役割について理解を深めることを目指して、カンボジア国で実施するものです。カンボジア国では収奪的な森林伐採による森林の減少と劣化が深刻な状況にあり、1973年に72%であった森林面積率は、2014年には48%まで激減しました。本研修では現地大学生等と共に、植林地管理活動体験や、森林の炭素貯留量を推定する森林資源調査等に取り組みます。そして学んだことを総括し、研修成果発表会において、持続可能な森林管理に向けた具体的なアクションプラン等の発表を行います。カンボジア国における森林管理の現状やその背景を学び、人と自然との共生の在り方や持続可能な開発についての考察を深めてみませんか。

【主なスケジュール(予定)】

3月07日	羽田空港午後発、プノンペン国際空港夜着、現地集合*
3月08日	環境修復保全機構カンボジア支局訪問、キリングフィールド訪問、JICAカンボジア訪問等
3月09日	プノンペンからコンポンチャム州へ移動、バディ(現地大学生等)と合流、「緑の募金」で取り組む植林活動地視察、地域住民との意見交換、コンポンチャム州における成果発表に向けた森林資源調査等
3月10日	コンポンチャム州からクラチェ州へ移動、「緑の募金」で取り組む植林活動地視察、地域住民との意見交換等
3月11日	地域住民と協働での植林地管理活動、クラチェ州における成果発表に向けた森林資源調査等
3月12日	クラチェ州からコンポンチャム州へ移動、成果発表準備等
3月13日	研修成果発表会、コンポンチャム州における地域住民と協働での植林地管理活動、コンポンチャム州からプノンペンへ移動等
3月14日	研修の振り返り、修了式、プノンペン国際空港へ移動等 空港にて現地解散*
3月15日	成田空港午後着

※ 現地集合・現地解散ですが、随行スタッフが研修員の渡航便に同行します。



期間 : 2024年3月7日(木)～3月15日(金)

定員 : 10名

費用 : 120,000円(航空券代等も含めた金額)

〆切 : **2023年12月1日(金)必着**

応募資格 : 国際緑化協力を含む緑化活動に強い関心がある方、NGO活動に理解のある方など

応募方法 : HP(www.erecon.jp)の募集要項を確認の上、応募書類をメール・郵送にてご提出下さい。

実施者

主催：公益社団法人 国土緑化推進機構 (www.green.or.jp)

共催：特定非営利活動法人 環境修復保全機構 (www.erecon.jp)

お問い合わせ・申込先

特定非営利活動法人 環境修復保全機構 (ERECON) 担当：上野

住所 : 東京都町田市小野路町 2987-1

Tel/Fax : 042-736-8972

E-mail : hq-erecon@nifty.com



※ 本研修は「緑の募金 (<https://www.green.or.jp/bokin/>)」の支援を得て実施します。

<緑の国際ボランティア研修> ~ カンボジア国 ~

<カンボジア国における森林の現状と取り組み>

近年、カンボジア国では経済性のみ重点を置いた開発により、自然環境や生物多様性が急速に失われています。環境・経済・社会が調和した「持続可能な開発」の重要性が認識されているものの、山林に近い農山村域では貧困からの脱却を目指した違法伐採が続いており、経済的土地営業権（経済的土地コンセッション契約）等の影響により、森林面積の減少が続いています。1980年代は310万haの国土が農地であり、1,180万haが森林に覆われていました。しかし、1993年頃には森林面積の内70万haが農地へと転換されました。内戦前後の時期から森林面積は徐々に減少しており、特に1970年代から1990年代末に至る間に多くの森林が失われました。しかし、材木の輸出は国家歳入を確保する上で重要な位置を占めており、カンボジア国政府も森林伐採に対して積極的な規制には至りませんでした。本研修で訪問するカンボジア国東部コンポンチャム州およびクラチェ州においても収奪的な森林伐採による森林の減少が深刻な状況にあります。環境修復保全機構では緑の募金の支援を受け、コンポンチャム州、クラチェ州、モンドルキリ州において地域住民と協働して植林活動に取り組んでいます。



カンボジア国において緑の募金により実施している植林活動

… 主催・共催団体紹介 …



公益社団法人

国土緑化推進機構 (NALAPO) (<https://www.green.or.jp/>)

国土緑化推進機構は、国土緑化運動を推進することにより、森林資源の造成、国土の保全及び水資源のかん養並びに生活環境の緑化をはかり、より心豊かな国民生活の実現、日本の文化的発展、さらには地球環境の保全に寄与すること及び国際貢献を目的としています。緑の国際ボランティアでは、青少年が緑の募金国際協力事業地のワーキングツアーに参加し、将来、国際緑化協力の場で活躍できる見識豊かな国際ボランティアを養成することを目的としています。



特定非営利活動法人

環境修復保全機構 (ERECON) (<https://www.erecon.jp>)

環境修復保全機構は、タイ、カンボジア、フィリピン等のアジア諸国における「農業的・都市的開発と自然環境との調和」を目指した環境修復保全に取り組むとともに、環境教育啓発の活動を通して、現地の人々が自然資源を持続的に利用していけることを目指してプログラムを展開しています。環境教育啓発プログラムの中心は、「持続可能な開発に向けた教育(ESD)」であり、その一環として「緑の国際ボランティア研修」を共催しています。